

① 上郷中学校区

■避難方針案

- ・上郷学区→高岡学区、末野原学区、竜神学区

学区の東側の避難者は県道 230 号で末野原学区へ避難、又は県道 232 号、末野原学区北側の一般市道で竜神学区へ避難する。その他は、県道 56 号、県道 239 号で高岡学区へ避難する。

■対象学区の不足する収容人数

No.	学区名	避難者数	避難者数		指定緊急 収容人数	広域避難地等 収容人数	不足する 収容人数
			水害	土砂			
105	上郷	12,370 人	12,370 人	0 人	1,660 人	0 人	10,710 人

※計数はそれぞれ一桁を四捨五入しているため、表中の避難者数等により求まる不足する収容人数とは異なる場合がある。

■隣接する学区の受入可能人数

No.	学区名	避難者数	指定緊急 収容人数	広域避難地等 収容人数	受入可能人数
106	高岡	300 人	5,620 人	3,350 人	8,670 人
112	竜神	400 人	4,910 人	650 人	5,150 人
115	若園	850 人	2,590 人	0 人	1,740 人
119	末野原	2,770 人	4,970 人	0 人	2,200 人

※計数はそれぞれ一桁を四捨五入しているため、表中の避難者数等により求まる受入可能人数とは異なる場合がある。

- ・上郷学区では 10,710 人の収容人数が不足する。
- ・隣接する学区の受入可能人数は、高岡学区が 8,670 人、竜神学区が 5,150 人、若園学区が 1,740 人、末野原学区が 2,200 人であり、避難先候補となる。
- ・学区の東側から西方面への避難は、愛知環状鉄道や家下川を横断する必要があり、交通が集中する可能性がある。このため、北方面の避難先候補を有効に活用する必要がある。
- ・以上を踏まえ、以下に上郷学区の避難先を示す。

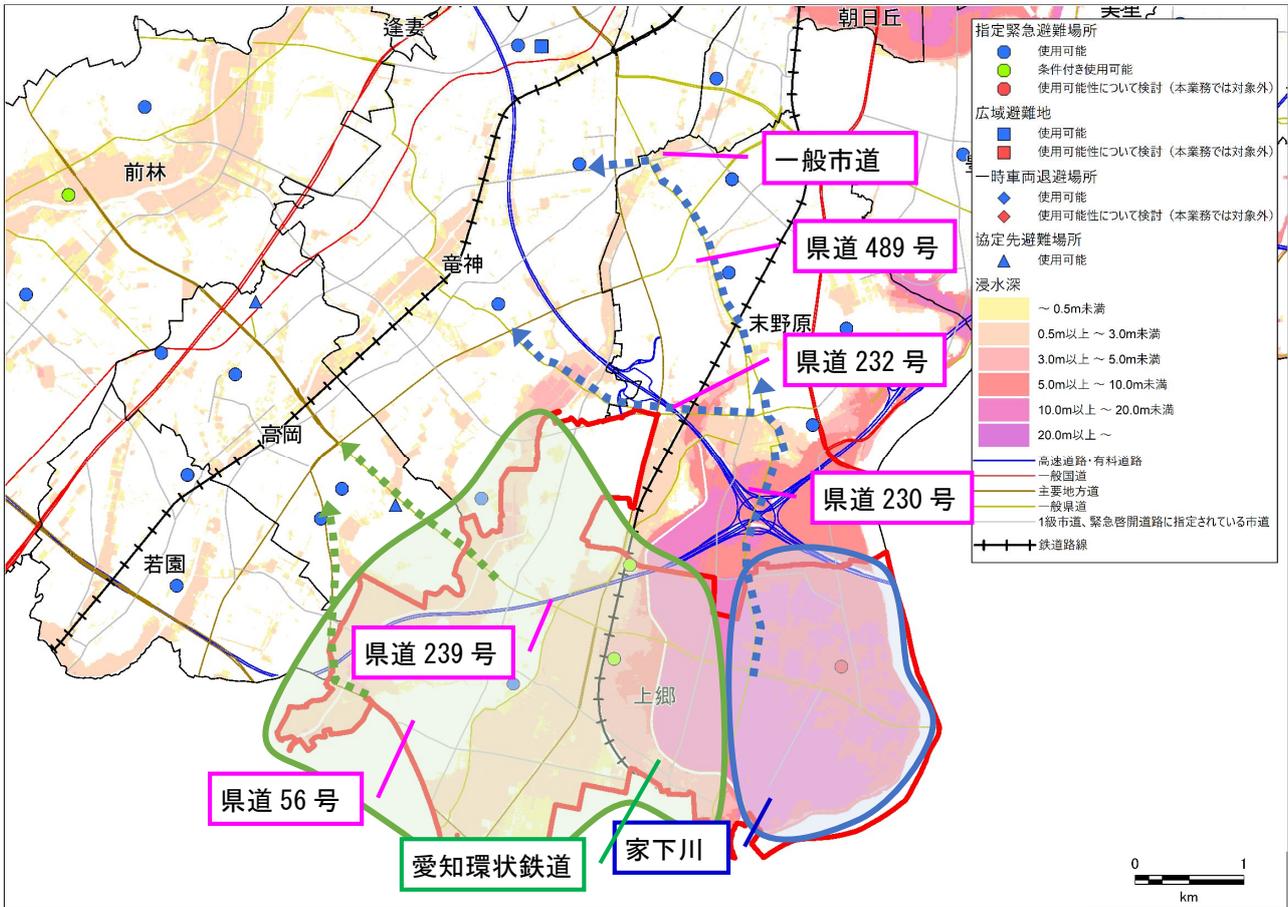
学区名	不足する 収容人数		学区名	受入可能 人数	学区名	受入可能 人数	学区名	受入可能 人数
上郷	10,710 人	→	高岡	8,670 人	末野原	2,200 人	竜神	5,150 人

【地区概要】

- ・上郷学区では、ほぼ全域が浸水する。特に、学区の東側が広く浸水するため、避難者は学区の東側に集中する。
- ・愛知環状鉄道が学区を縦断している。このため、鉄道横断箇所で交通が集中する可能性がある。
- ・家下川が学区を縦断している。このため、河川横断箇所で交通が集中する可能性がある。

【避難経路】

- ・鉄道横断箇所及び河川横断箇所への流入量を抑制するため、学区の東側の区域の避難者は、県道230号により北上し、末野原学区へ避難する。末野原学区だけでは収容人数が不足するため、県道232号、又は末野原学区北側の一般市道で西へ向かい竜神学区へと避難する。
- ・その他の区域は、県道56号や県道239号を西へ向かい高岡学区へ避難する。
- ・なお、避難先とした竜神学区は、先述した朝日丘学区と避難先が重複する。このため、学区東側の区域の避難者は、末野原学区へと優先して避難する必要がある。
- ・また、上郷中学校区内の受入可能な避難施設は、避難行動要支援者などの遠距離の移動が困難な方や徒歩での避難者を受け入れる。



上郷中学校区の避難方針（案）